



JASDAQ

平成 23 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社ジー・テイスト  
代表者名 代表取締役社長 稲吉 史泰  
( J A S D A Q ・ コード番号 2694 )  
問合せ先 執行役員管理本部長 岩崎 友也  
( TEL. 022 - 762 - 8540 )

平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 23 年 8 月 15 日付当社「平成 24 年 3 月期 第 1 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記の通り修正いたします。

#### 記

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,102	168	150	48	0.73
今回発表予想 (B)	8,383	472	448	288	4.32
増 減 額 (B - A)	281	303	298	239	-
増 減 率 (%)	3.5	179.4	198.0	493.6	-
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 23 年 3 月期第 2 四 半期) ※	8,839	△132	△188	△640	△11.51

※第 1 四半期会計期間より、営業外収入に計上しておりました専売契約料収入及び不動産賃貸料収入を売上高に、営業外費用に計上しておりました不動産賃貸原価を売上原価に計上する方法に表示方法を変更いたしましたので、前期第 2 四半期実績数値を遡及処理しております。

#### 2. 差異理由

当第 2 四半期累計期間における経済環境は、未だ東日本大震災の被災地復興の途上ではありますが、外食業の業績に直接的な影響を与える、物資の流通・消費動向等に関しましては回復基調となっております。

一方、欧米の経済不安がさらに深刻化したことから円がドルに対して史上最高値を付けるなど、今後の景気動向は一層、先行きが懸念される状況となっております。

このような状況のなか、当社では、被災地にある企業として復興の一助となるよう、復興支援をテーマに掲げた「フェア」の開催や、季節ごとのキャンペーンメニューやグランドメニューの充実をはかり、業績の回復に取り組んでまいりました。当初、東日本大震災の影響をうけ来店客数の落ち込みによる売上高の減少等、厳しい経営環境を予想しておりましたが、震災地での需要が高まり、物流の混乱や計画停電の影響も想定を下回り、業績は順調に推移いたしました。

また、コスト削減を図るため、不採算店舗（寿司事業2店舗、居酒屋等事業19店舗）の撤退を前倒しですすめることにより業績改善に努めてまいりました。

その結果、平成24年3月期第2四半期累計期間の売上高は、8,383百万円（前回予想比：281百万円の増加）、営業利益は472百万円（前回予想比：303百万円の増加）、経常利益は448百万円（前回予想比：298百万円の増加）、当期純利益は288百万円（前回予想比：239百万円の増加）と前回発表を上回る見通しとなりましたので修正いたします。

### 3. 平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	16,356	377	361	211	3.16
今回発表予想（B）	16,414	706	659	374	5.58
増減額（B－A）	58	329	297	162	-
増減率（％）	0.4	87.3	82.3	76.9	-
（ご参考）前期実績 （平成23年3月期）	17,693	38	△75	△2,700	△44.75

※第1四半期会計期間より、営業外収入に計上しておりました専売契約料収入及び不動産賃貸料収入を売上高に、営業外費用に計上しておりました不動産賃貸原価を売上原価に計上する方法に表示方法を変更いたしましたので、前期実績数値を遡及処理しております。

### 4. 通期業績予想の修正理由

第2四半期累計期間の業績は、前回予想を上回る見通しとなるものの、今後の経済環境及び景気動向は、円高の影響や原発事故の影響など国内外の諸状況により先行きの不透明感が増しており、予想が困難であることから第3四半期以降の業績については上記記載の不採算店舗の前倒し撤退による減収増益効果及び撤退に係る費用75百万円のみ修正し、上記の業績予想といたしました。

（注）業績の見通しにつきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上